

令和4年度
事業報告

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

社会福祉法人 入野福祉会
軽費老人ホームケアハウス 大仙

令和4年度ケアハウス大仙事業報告

I 事業活動総括

全国の要支援者は190万人、要介護1、2の要介護者は約250万人と言われ未だ増加傾向です。

当ケアハウスの入居者状況を確認すると、入居者年齢は、80歳代が11名、90歳代が6名で、100歳の入居者もおられます。介護認定を受けている入居者は、要支援者8名、要介護1及び2の認定者は11名おられ、自立された3名以外は明らかに日々何等かの援助が必要な状況です。(図3)

介護が必要な原因としては、骨折や基礎疾患の悪化による入院、廃用症候群(身体を動かさないためにおこる様々な身体の変調)がもたらす身体的変化や認知機能の低下が主な原因となっていますが、今年度の入院者状況としては、11名入院され、入院期間が延べ483日間と長期化しています。(図4)これは、ケアハウス運営開始より今期初めての状況ではないかと思われます。

また、退居者は7名で、新規入居者は4名に留まっています。(図2)

退居理由としては、疾患により医療的処置が必要となったことや、介護が必要となったことが多くの理由となっていますが、入居者の高齢化も大きな原因となり、17名は80歳以上で自立生活が困難な状態が退居の理由となっています。(図7)疾患の悪化や高齢といったこの状況は改善する余地はなく、新規入居者を待たざるを得ません。

今年度の入居者確保に向けた活動を振り返ると、新型コロナウイルス感染症のための活動制限もありましたが、職員間の連携や、地域包括支援センター、他事業所、病院との連携が殆ど取れていないことで入居者紹介がなかったと反省します。

今後は、多くの関係機関と連携をし、地域に根ざした高齢者施設としての役割を果たす努力をします。

そして、入居者と職員との関係性も問題視しなければなりません。入居者からの苦情は真摯に受け止め、改善可能な場合には適切に改善しようとする姿勢で向き合うことが重要です。入居者に対するサービスの提供に当たっては、懇切丁寧に行うことを旨とし、入居者またはその家族に対し、サービスの提供を行う上で必要な事項について理解しやすいように説明をし、相談にも応じ、入居者が安心して生き生きと生活できるようにするための機会を適切に提供することを目指すよう努めます。

図 1

単位：人

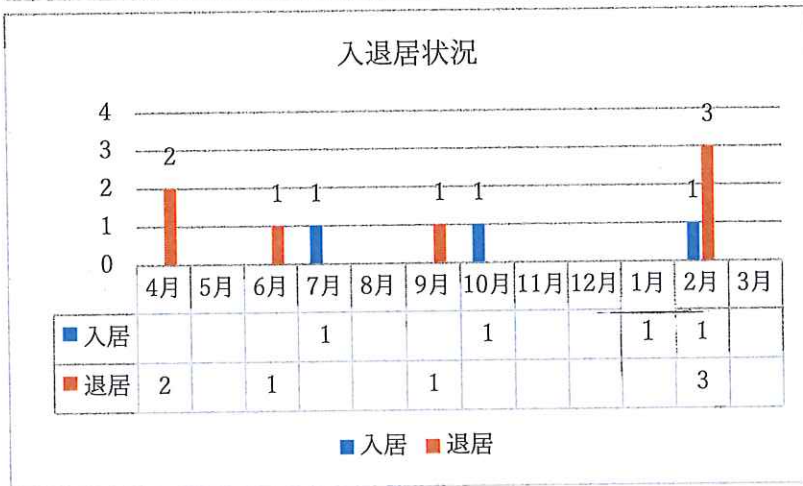
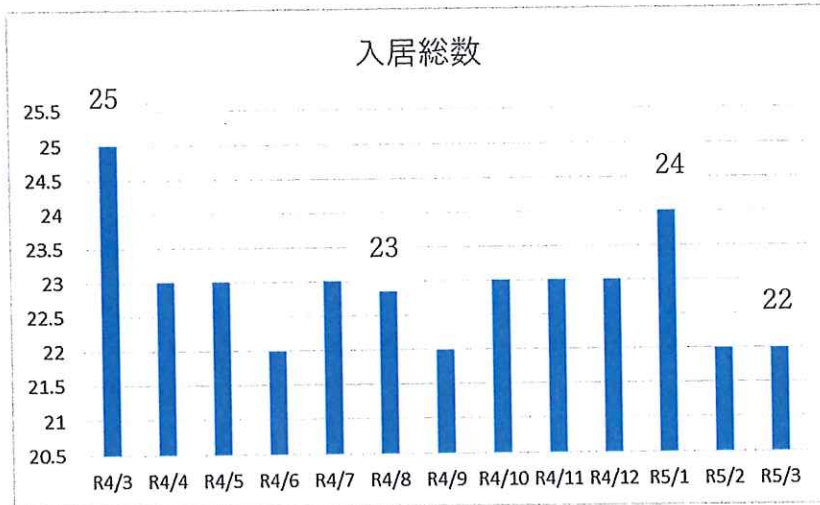


図 3

単位：人

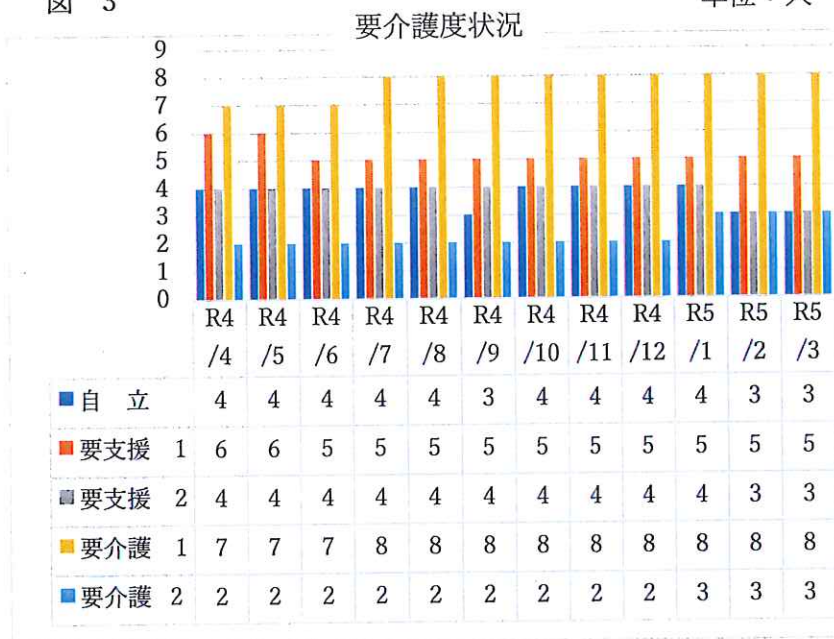


図 4

単位：日数

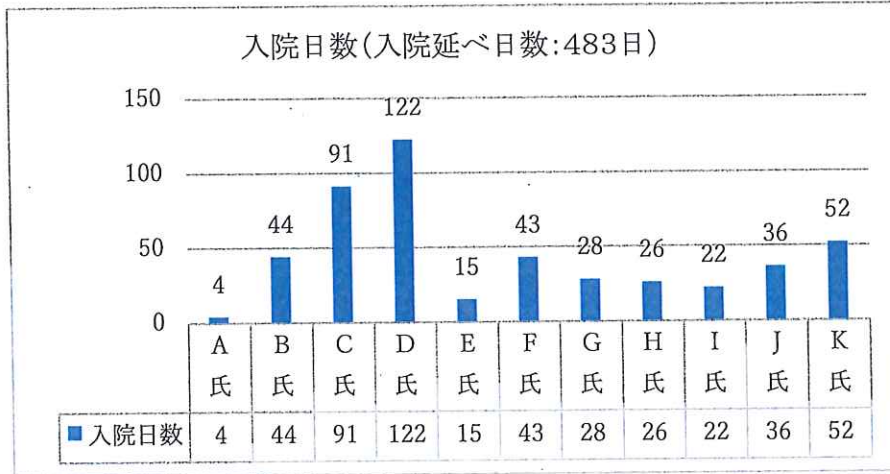


図 5

単位：人

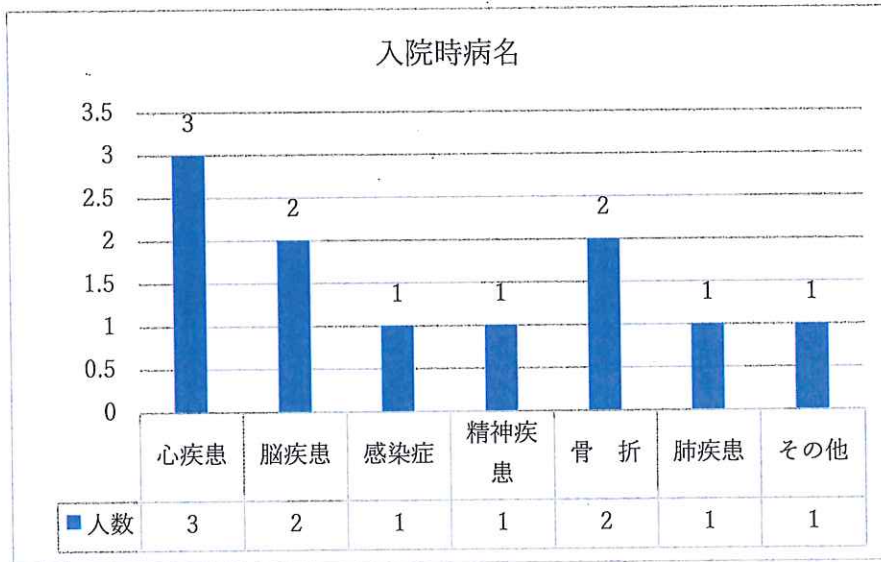


図 6

単位：人

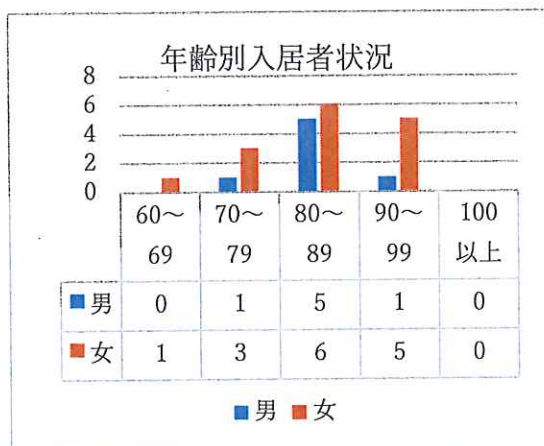
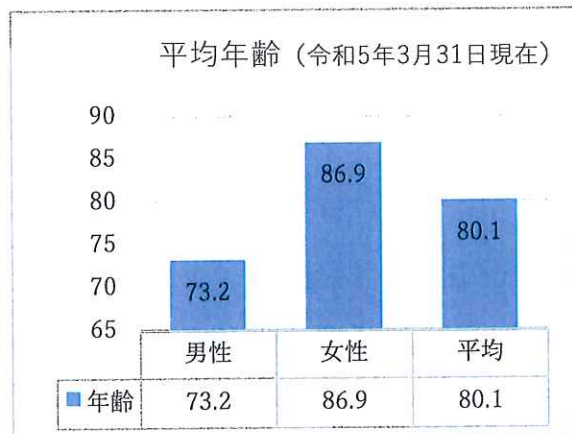


図 7

単位：人



外部サービス利用状況

| 外部サービス利用状況（複数利用あり） | |
|--------------------|------|
| サービス内容 | 利用者数 |
| デイサービス | 9名 |
| デイケア | 7名 |
| 訪問看護 | 2名 |
| 訪問介護 | 8名 |

事故報告

| | R5/1 | R5/3 |
|---------|------|------|
| 転倒による骨折 | 1件 | 1件 |
| 年齢 | 98歳 | 88歳 |

ヒヤリハット状況

| | R4/7 | R4/8 | R4/9 |
|----|------|------|------|
| 転倒 | 1件 | 1件 | 1件 |

II 委員会報告

感染症に関しては、新型コロナウイルス感染の予防法を中心に手洗い、アルコール消毒、マスク着用等日常の注意点を入居者にもお願いし予防していましたが、外部サービスを利用や、外出される方もおられ、今回新型コロナ感染症に4名罹患され、インフルエンザウイルスにも1名罹患されました。

その都度居室隔離とし、職員、宿直は慣れない感染症対応に戸惑いながら、感染拡大を予防しました。

事故防止に関しましては、高齢の入居者が多く、身体機能の低下により転倒をされる方が多く、今回5件の転倒があり、2件は骨折され入院されました。毎日の朝の体操や、栄養士による栄養の話を聞いていただき、少しでも健康の維持に役立てていただければと思います。

入居者収入別階層区分内訳

(令和5年3月31日現在)

| 階層区分 | 所得金額 | 人数 |
|------|-------------------------|----|
| 1 | 1,500,000 円以下 | 13 |
| 2 | 1,500,001 円～1,600,000 円 | 1 |
| 3 | 1,600,001 円～1,700,000 円 | 4 |
| 4 | 1,700,001 円～1,800,000 円 | 0 |
| 5 | 1,800,001 円～1,900,000 円 | 0 |
| 6 | 1,900,001 円～2,000,000 円 | 1 |
| 7 | 2,000,001 円～2,100,000 円 | 2 |
| 8 | 2,100,001 円～2,200,000 円 | 1 |
| 9 | 2,200,001 円～2,300,000 円 | 0 |
| 10 | 2,300,001 円～2,400,000 円 | 0 |
| 11 | 2,400,001 円～2,500,000 円 | 0 |
| 12 | 2,500,001 円～2,600,000 円 | 0 |
| 13 | 2,600,001 円以上 | 0 |
| 合計 | | 22 |

【食事提供状況】

行事の日には様々なメニューが提供されます。
 カロリー数の違いにより、特養の入所者より 1 品多く提供されるためより豪華なメニューとなります。



お正月料理



節分



お花見弁当



すしバイキング



お雛祭り



行楽弁当



お誕生日会



クリスマス会

【行事活動状況】



寿司バイキング



お雛祭り



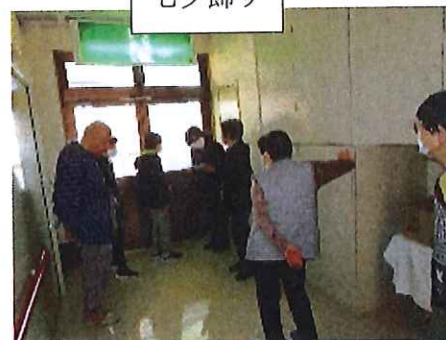
庭園散策



七夕飾り



庭園散策



避難訓練



米養教室

| | | | | | |
|--------|---|--|-----|--|-----|
| 稟 議 | 理事長 | 園長 | 事務長 | 主任保育士 | 担当者 |
| |  |  | |  | |

令和4年度 入野光保育園 事業報告書

1.事業の概要

十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし、健康の保持及び情緒の安定を図った。お陰で子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開できた。愛され大切にされる経験が、人への思いやり、強さ、自立心を育んでくれたと感じている。

大きな事故・問題もなく保育ができ、17名の卒園児を元気に送り出せた。

保育目標 「 強く・ 正しく・ 優しく 」
～たくましさと思いやりのある子どもに～

目指す子ども像を

- ・考える子どもに
- ・思いやりのある子どもに
- ・感動する子どもに
- ・思いが表現できる子どもに
- ・根気のある子どもに

として取り組んできた。

留意してきたことは、保育士自身が子どもの思いを共感的に汲み取り、思いやりのある態度で接し、子どもの自己表現を引き出せるようにしたこと。

常に保護者と連携を取り合いながら、目的達成に努めた。

- ・連絡帳（毎日）
- ・個人懇談（4月終り～5月始め）
- ・園だより・クラスだより（毎月）
- ・保育参観（保護者会）（年4回）
- ・各組の保育実践の振り返り（毎月）

給食は、家庭的な味付けを大事にしながら、乳幼児期という特性を踏まえ、その子どもたちの一生の食生活を形成するという役割を重視して、様々な工夫を凝らした。おやつも手作りを中心とした。

特別な保育事業を実施した。

- ・地域子育て支援拠点事業（月・火・木の週3日実施）
- ・障害児保育事業 4月～3名
- ・緊急一時預かり事業（希望に応じて）・・・今年度1名

2.園児の状況 定員80名

| | 年度初め | 途中入園 | 途中退園 | 年度末 |
|-------|------|------|------|-----|
| 0歳児 | 5 | 1 | 0 | 6 |
| 1・2歳児 | 25 | 6 | 6 | 25 |
| 3歳児 | 5 | 1 | 1 | 5 |
| 4・5歳児 | 31 | 1 | 2 | 30 |
| 計 | 66 | 9 | 9 | 66 |

3.職員の状況

| | | | |
|-------|----|--------|------|
| 園長 | 1名 | パート保育士 | 4名 |
| 主任保育士 | 1名 | 事務員 | 1名 |
| 保育士 | 8名 | (嘱託医) | (2名) |
| 調理員・等 | 3名 | 子育て支援士 | 2名 |

4.主要年間実施行事

- 4月 入園写真撮影 歯科健診 保護者会〔白組のみ〕
5月 (個人懇談) (親子遠足) 尿検査 健康診断
6月 衣替え 冷水摩擦始め プール開き (大仙園慰問)
7月 七夕会 地震退避訓練 シャボン玉会 保護者会 年長児お泊まり会
火災通報訓練 不審者対応訓練 消火器等総合点検・消火器使用訓練
8月 (夕涼み盆踊り大会)
9月 プール納め お月見会 (敬老会・大仙園慰問)
10月 衣替え 健康診断 歯科健診 運動会
11月 園外保育 縄跳び大会 (老人会との交流) 尿検査 (レストランごっこ) 餅つき大会
12月 (ふれあい参観〔第2土曜〕) 製作まつり
1月 保護者参観〔英会話教室〕 マラソン大会
2月 節分豆まき 消火器等点検 地震退避訓練 火災通報訓練
不審者対応訓練 発表会予行練習 発表会(第4土曜)
3月 年長児お茶ごっこの集い (大仙園慰問)
年長児お別れ遠足 園児お別れ会 卒園式
※ () の行事は、コロナの感染拡大を防ぐために中止とした。

毎月・・・交通安全訓練 火災退避訓練 身体測定 お誕生会

<講師を招いて>

英会話教室(月4回) 年長・年中児

講師:ペレズ・クリスティン (フォスター外語学院講師)

お茶ごっこ(月2回) 年長児

講師:盛本美幸・平野喜久恵・道正水脈

囲碁ゲーム(年6回) 年長児

講師:堀江誠及

リズム運動遊び(年4回)

講師:松本雅子・木原涼次

野球教室(年1回) 年長児

講師:伯和ビクトリー選手4名+2名

5.職員研修の状況

園内職員会議 毎月1回

園内人権保育学習 年5回

東広島市民間保育施設長会 年6回

こども未来部 保育課との連携を図り、保育運営等の充実に努めた。

市保育連盟との連携を図り、保育の質の向上に努めた。

市・保育連盟 総会・講演会 5月

全体研修会 年5回 (オンライン)

県・保育連盟 保育事業研修大会 (2日間)

所長研修 (オンライン)

夏季保育研修 (2日間・オンライン)

幼保・小接続研修 (1日間)

園長等運営管理協議会 (オンライン)

保育施設長等リーダー研修 (2日間)

「教育・保育の質向上」研修会 (オンライン)

園・所における保護者支援のための研修会 (オンライン)

県・エッセンシャル研修

キャリア別保育セミナー (オンライン)

特別な支援を必要とする幼児児童のための幼保小接続期の保育研修 (オンライン)

子育て支援者会議

キャリアアップ研修：2人・・・(オンライン)

6.コロナ禍での園運営

- ・昨年同様、行事は控えたり、密集を避けたりしながら、時短にするなど工夫したり、消毒の協力をお願いして実施できるものは実施した。

特に年長児は、できるだけ思い出に残るよう考慮して取り組んだ。

- ・4月18日(月)

0・1・2歳児の園児と職員にコロナ陽性者が数名出て、クラスターが発生したため4/18(月)～4/23(土)まで0・1・2歳児クラスは閉鎖とした。施設の消毒は職員で行った。

- ・5月27日(金)

本日登園していた2歳児園児が帰宅後コロナ感染の報告あり。

翌日5/28(土)を臨時休園とし、職員全員で施設の消毒をする。

砂場も業者に依頼し消毒を実施。

- ・その後も、園児の陽性や家族の陽性の報告が月に2.3件あった。
- ・1月になってコロナ陽性者の報告が増えてきたため、保育課の係長さんに今後の対応について相談。休園はせずに、呼吸器症状など体調不良の場合は受診をお願いすることとなった。

・2月20日（月）

4歳児1名のコロナ陽性の報告があった。

・その後はコロナの感染者は出ず、年度末を迎えることができた。